

京都大学経営管理大学院

女性エグゼクティブ・リーダー
育成プログラム

2024



WEL
Women's Executive Leadership

2024年2月2日版
今後変更の可能性がございます

女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム

近年、世界中で、取締役会におけるジェンダーダイバーシティが大きなトレンドになっています。さらに、多くの先進諸国、また一部の新興国においても、取締役会におけるジェンダーダイバーシティの規制が設けられており、今後 ESG 投資が増大するにつれて、日本の企業においても、社会的責任（CSR）の一環としてジェンダーダイバーシティの改善が、ますます求められます。一方で、日本における上場企業の取締役会に占める女性の割合は約 10.6%（2023 年）にとどまっているのが現状です。日本企業のトップマネジメントにおけるダイバーシティを推進するためにはどうすればよいのか、女性のエグゼクティブ・リーダーを育成するにはどのような人材投資や開発が必要であるか。こうした社会的課題と要望に応えるために、京都大学経営管理大学院（GSM）は、将来の女性エグゼクティブ・リーダーを育成するプログラムを 2023 年秋から開講いたしました。



なぜジェンダーダイバーシティが必要なのか？

近年、さまざまな研究分野の分析結果から、女性の取締役が一定数存在するジェンダーバランスのとれたトップマネジメントは男性のみものものとくらべ、以下のような傾向があることがわかってきました。

- 意思決定のプロセスに多様な意見が持ち込まれることによって、企業のイノベーションの促進が期待される
- 企業の CSR パフォーマンスの向上が期待される
- 多様な顧客および従業員の様々なニーズを汲み取ることができるようになることで、相互理解の促進が期待される
- 人材採用において女性応募者数の増加や企業の人材適合性向上による女性応募者層の拡大が期待される

さらに、機関投資家・個人を問わず、ESG や取締役会のジェンダーバランスを重要視していることから、企業がジェンダーダイバーシティに配慮していることを市場に示すことは非常に重要であるといえます。

京都大学 GSM が力をいれる、研究 × 実務教育

京都大学経営管理大学院（GSM）は日本企業における女性トップマネジメントを増やすことで、日本企業社会の力強い成長の促進を目指します。その目標達成の一環として、「女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム」を開講いたします。このプログラムでは、ジェンダーバランスに関する研究の推進とその成果を社会に還元するために、関連する授業を提供し、また、受講者以外の方々も参加可能なセミナーやシンポジウムを開催します。プログラムに参加する企業は、①本プログラムへの社員派遣、②（正会員のみ）企業向け研修講義への参加が可能です。



本プログラムの特色

リーダー的な役割における男女平等が喫緊の課題となるにつれて、取締役会の女性にも曙光が差し始めてきています。ESG（環境、社会、ガバナンス）投資が増大するにつれて、メディアや一般市民の声を追風として、ジェンダーダイバーシティを含む社会的責任（CSR）に努力する企業が増えています。さらに、そのような取り組みにより、ジェンダーに関する長年のステレオタイプの見方や、リーダーの役割に対する女性の感じ方も、徐々に変化しつつあります。

日本は、活発な株式市場を有する先進国ですが、その取締役会におけるジェンダーダイバーシティは、かなり立ち遅れているといえます。日本企業の実務におけるダイバーシティを、他の先進諸国並みに高めるにはどうしたらよいのか。そうした社会の課題に、我々は貢献したいと考えております。

日本で取締役会の男女平等を実現するには、企業内の女性取締役候補者の人数を増やすことが重要です。また、そうすることは特に大学やビジネススクールの責務であると考えております。海外の女性リーダーシッププログラムを提供しているオックスフォードやハーバードのような有名大学が実施していることを参考にして、京都大学経営管理大学院で女性専用のエグゼクティブMBAプログラムを提供することにしました。参加者の皆様と京都大学でお会いできることを楽しみにしております。

経営管理大学院 教授 アスリ・チョルパン



1. オンラインと対面を効果的に組み合わせたプログラム

経営戦略やリーダーシップ等の体系的な経営知識および女性役員候補に特化した知識の習得に関する座学は、オンラインで提供します。しかしオンラインだけでは得られない、女性エグゼクティブ達によるコーチングセッションや、同じ場所を目指す仲間や講師陣とのネットワーキングの機会は対面にて提供します。対面授業は週末に開催し、本業との調整のしやすさにも配慮しています。

2. 女性エグゼクティブ・リーダーの育成に特化したプログラム

MBA が提供する基本的な学術的な知識だけでなく、女性リーダーが直面する様々な課題を克服するための、必要なマインドセットと重要なスキルを身につけることを目的とした、女性のリーダー育成に特化したプログラム構成となっています。

3. 世界で活躍する女性エグゼクティブ達が講師として参加

講師として迎えるのは、日本はもちろん、世界中で活躍する女性エグゼクティブ達です。経営学の知識は研究者である教員から学ぶことができますが、女性エグゼクティブによる実際の経験に基づいた説得力のあるレクチャーは得難いものです。こうした講師陣をメンターに迎えたコーチングセッションやディスカッションを体験することで、参加者が将来のリーダーとなる能力を磨きます。

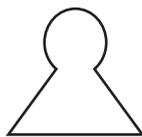
4. 国際経験豊かな教員、講師勢によるレクチャー

経営管理大学院では、ジェンダーバランスに加え、国際性も重要視しています。多様性を重視した教育環境を実現するため、国際経験豊かな教員と講師陣を迎えています。実際の海外での留学経験、就業経験、起業経験等を通じて、多様な人が集まる環境で働く時に必要とされる知識やリーダーシップ、信頼関係の築き方等を学ぶことができます。

本プログラムの概要

役員を目指している、又は将来に役員候補になり得る女性を対象とする育成プログラムです。プログラムの受講期間は6ヶ月間（合計約65時間）です。オンライン授業は平日、対面授業は土曜日に開催します。

本プログラムでは、講義、プレゼンテーション、ケーススタディ、パネルディスカッション、グループコーチングセッションなど、参加者がトップマネージャーとして成果を上げるための充実した学習体験を提供します。とくに、女性リーダーが直面する様々な課題やアンコンシャス・バイアスを克服する重要なスキルを身につけるための、女性リーダーに特化した内容となっていることが強みです。また、京都大学経営管理大学院（GSM）の教授陣に加え、主に女性経営者、コンサルタント、その他様々な専門家とのネットワーキングを通じて参加者の将来のキャリア形成を支援します。



役員を目指している、又は将来に役員候補になり得る女性



6ヶ月間（約65時間）
（オンラインは平日、対面は土曜日に実施）



参加者には京都大学経営管理大学院（GSM）のディプロマ認定証を授与

プログラムで学べる内容

体系的な知識の修得（オンライン授業）

このセクションでは、経営戦略、リーダーシップ、ガバナンス、財務等、トップマネジメントに求められる基礎的な科目を学びます

女性エグゼクティブに特化した知識の習得（オンライン授業）

このセクションでは取締役会での行動様式や、組織内外のネットワークづくりなど、ジェンダーの固定観念にまつわる問題、そして社外取締役から見たガバナンス改革、ダイバーシティ課題などを取り上げます。プログラムの参加者は、成功を収めている他の女性プロフェッショナルと意見を交わす機会を得ることができます。

コーチング・セッション（対面授業）

受講者のロールモデルとなりうる女性経営者・女性経営幹部をメンターとして招き、受講者は自身が抱える課題に対してメンターからアドバイスを受けることができます。このセクションは、受講生によるグループプレゼンテーションと活発なディスカッションで構成されています。将来的に自立した女性リーダーとして活躍できるよう、アンコンシャス・バイアスをなくし、自己啓発を支援することにより、組織の中で直面する課題を克服することを目的とします。

参加メンバー、講師陣、ゲストスピーカーとのネットワーキング

初回、最終回では、ネットワーク作りのための機会を設けます。さらに、プログラム修了生のネットワークも構築予定です。プログラム修了後もイベントなどを通じて、現役参加者や修了生のさまざまな分野の女性エグゼクティブと継続的に交流をもつことができます。このプログラムで得たご縁は、きっと今後の参加者の強みになることでしょう。

カリキュラム

プログラムの特色に合わせた、効果的なカリキュラムを提供します。

モジュール2、3はオンライン授業、モジュール1、4、5は対面授業を京都大学で実施します。

*カリキュラムは途中で変更となる場合があります

モジュール1：イントロダクション（3時間）

初回は京都大学で実施（ガイダンス＋自己紹介セッション）

モジュール2：基礎科目 オンライン講義（合計14時間）

エグゼクティブとして重要な基礎知識（基礎知識習得に重点）を学ぶ

・コーポレート・ガバナンス	1回2時間 × 1回 = 2時間
・経営戦略	1回2時間 × 1回 = 2時間
・人的資源管理	1回2時間 × 1回 = 2時間
・マーケティング論	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ビジネスエシックス	1回2時間 × 1回 = 2時間
・コーポレートファイナンス	1回2時間 × 1回 = 2時間
・会計	1回2時間 × 1回 = 2時間

モジュール3：専門科目 オンライン講義（合計14時間）

女性リーダーに焦点を当てた専門知識（ゲスト講師の講義、及び意見交換）

・取締役会のあり方と女性役員の役割	1回2時間 × 1回 = 2時間
・リーダーシップ論	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ウーマノミクス&女性社員の育て方	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ビジネスウーマンが目指す成功とは？	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ジェンダーとガバナンス	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ガラスの天井：課題と対策	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ジェンダーダイバーシティと企業価値向上	1回2時間 × 1回 = 2時間

モジュール4：先端科目 対面講義・セッション（合計30時間）

現役女性役員講師と議論できるインタラクティブセッション

・女性社外役員と対話セッション	1回、5.5時間
・女性社内役員（CXO）と対話セッション	1回、5.5時間
・重要なリーダーシップスキルとは	1回、5.5時間
・グループコーチングセッション	1回、5.5時間
・グループコーチングセッション	1回、5.5時間
・グループコーチングセッション	1回、2.5時間

モジュール5：ネットワーキング&クロージング（合計3時間）

京都大学で最終のまとめ

教員紹介

(講師：五十音順)

コーディネーター

澤邊 紀生
さわべ のりお



京都大学経営管理大学院
院長・教授

京都大学経済学部、京都大学大学院経済学研究科修士課程、同博士後期課程退学。博士(経済学)。立命館大学助教授、九州大学助教授等を経て、現職。日本管理会計学会元副会長、日本原価計算研究学会副会長、牧誠財団理事。専門は会計学、管理会計、マネジメントコントロール

コーディネーター

アスリ
チョルパン



京都大学経営管理大学院
教授

英リーズ大学経営工学修士、京都工芸繊維大学工学博士。京都大学経済研究所 研究員、京都大学白眉センター 准教授等を経て現職。ハーバード・ビジネス・スクール及び MIT 客員教授。住友ゴム工業株式会社社外監査役、NISSHA 株式会社社外取締役。専門は経営戦略、企業統治、国際経営、経営史

コーディネーター

関口 倫紀
せきぐち ともき



京都大学経営管理大学院
教授

東京大学文学部卒業、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修了(MBA)、University of Washington Business School 博士課程修了(Ph.D.)。大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て現職。専門は人的資源管理論・組織行動論

コーディネーター

幸田 博人
こうだ ひろと



京都大学経営管理大学院
特別教授

一橋大学経済学部卒業。日本興業銀行、みずほフィナンシャルグループ、みずほ証券常務執行役員、専務取締役、取締役副社長等を経て(株)イノベーション・インテリジェンス研究所社長(現職)。(株)産業革新投資機構社外取締役等。専門は資本市場制度、プライベート・エクイティ、イノベーション、人的資本関係

講師 / コーチング担当

我喜屋 まり子
がきや まりこ



京都大学経営管理大学院
客員教授

ハーバード大学大学院国際教育経営・社会政策博士課程修了。同志社女子大学客員教授。ハーバード大学公衆衛生大学院(SHINE)、ハーバード大学教育・法科大学院、東京大学大学院医学系研究科ファカルティ・ディレクター、ポスティングローバル・フォーラムなどの役員を歴任。国際女性ウェルネス財団アドバイザーボード。専門はグローバルリーダーシップ(DEI)、成人・組織学習戦略

講師 / コーチング担当

LIU Ting
りゅう てい



京都大学経営管理大学院
講師

大阪大学経済学研究科経営学系専攻博士前期・後期課程修了(Ph.D.)、博士課程教育リーディングプログラム大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム5年制修了。広島市立大学国際学部専任講師を経て現職。専門は国際人的資源管理、組織行動論、国際経営など

コーチング担当

増田 尚子
ますだ しょうこ



HKSM Consulting, LLC
主幹コンサルタント

American Express で各国にてグローバルマーケティングリーダーを20年ほど務めた後、Aetna/CVSで調査部を再構築。独立後、2017年より多国籍製薬会社の女性管理職コーチングに携わる。2020年、独自の女性トレーニングを設立、マイノリティー女性支援。国際コーチ連盟(PCC)及び欧州コーチング協議会認定コーチ。NY大学MBA。専門はExecutive coaching、Team coaching、Marketing research

講師

秋山 咲恵
あきやま さきえ



株式会社サキコーポレーション
ファウンダー

京都大学法学部卒業。アクセンチュアを経て起業。電子機器製造プロセス向けに画像認識技術を搭載した自動検査装置メーカーを創業し、世界的なブランドを構築する。25年の創業社長としての経験を活かし、複数の上場企業の社外取締役を務める。奈良女子大学工学部(起業論)客員教授。専門はアントレプレナーシップ、経営戦略、企業統治

講師

井上 卓
いのうえ たかし



三菱重工業株式会社
I・R・S R室長

京都大学法学部卒業。三菱重工業総務部・法務部・広報部等を経て現職。全国株懇連合会理事長、東京株式懇話会会長。経済産業省「新時代の株主総会プロセスの在り方研究会」委員、商事法務研究会「商事法の電子化に関する研究会(電子提供措置事項記載書面)」委員。専門は株主総会・取締役会に関する企業実務

講師

上田 亮子
うえだ りょうこ



京都大学経営管理大学院
客員教授

政策研究博士。みずほ証券（東京、ロンドン）、日本投資環境研究所において、コーポレート・ガバナンスや機関投資家の行動に関する研究に従事。公認会計士・監査審査会委員、金融審議会専門委員、IFRS 財団 Management Commentary Consultative Committee 委員等を歴任。専門はコーポレート・ガバナンス、サステナビリティ、資本市場

講師

岡 俊子
おか としこ



株式会社岡 & カンパニー
代表取締役

一橋大学卒業。ペンシルバニア大学ウォートンスクールMBA修了。朝日アーサーアンダーセン、デロイト トーマツ コンサルティング、アビーム M&A コンサルティング株式会社 代表取締役社長、マーバルパートナーズ 代表取締役社長、PWC アドバイザリー合同会社パートナー等を経て現職。専門は M&A、経営コンサルティング

講師

岡嶋 裕子
おかじま ゆうこ



京都先端科学大学経済経営学部
准教授

大阪大学大学院情報科学研究科 特任准教授（常勤）。早稲田大学商学部卒業、大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期課程、同博士後期課程修了。博士（国際公共政策）。学部卒で Andersen Consulting（現アクセンチュア）、ベンチャー企業立ち上げ等を経験後、大阪大学未来戦略機構、同経営企画オフィスを経て現職。専門は人事経済学、労働経済学、教育経済学、人的資源管理

講師

河合 江理子
かわい えりこ



京都大学
名誉教授

ハーバード大学卒業。INSEAD（欧州経営大学院）MBA（経営学修士）修了。国際決済銀行（BIS）、経済協力開発機構（OECD）、京都大学大学院総合生存学館教授を経て現職。社外取締役、社外監査役も兼任。専門は グローバル人材育成、リーダーシップ、資産運用等

講師

串田 ゆか
くした ゆか



株式会社 J☆みらいメディカル
代表取締役社長

京都薬科大生物薬学科卒業、薬剤師。京都大学経営管理大学院修士、京都大学博士（経営科学）。平成6年株式会社 J☆みらいメディカル創業、平成15年上場医薬品卸傘下入。平成25年親会社の中間持株会社ファーマクラスター株式会社の取締役、令和3年取締役副社長。学校法人京都薬科大学理事。専門は組織行動論、人的資源管理（女性社員の育成）、医療機関経営、薬品分析、漢方薬治療

講師

久能 祐子
くのう さちこ



京都大学経営管理大学院
特命教授・総長特別補佐

京都大学大学院工学研究科博士課程修了。株式会社アールテック・ウエノ、スキャンボ・ファーマシューティカルズ社を共同創業し、研究開発や運営に携わる。後に社会起業家として居住滞在型インキュベーター ハルシオン（米国）、フェニクス（京都）を共同創業した。ジョンスホプキンス大学の理事等を務めるほか、京都大学理事を2022年9月まで務めた。専門は創業、起業論、グローバル人材開発等

講師

熊谷 五郎
くまがい ごろう



京都大学経営管理大学院
客員教授

みずほ証券株式会社グローバル戦略部産官学連携室上級研究員、日本証券アナリスト協会企業会計部長。国内外の会計基準、財務報告・サステナビリティ報告、監査制度等に幅広く関与。1982年慶應義塾大学経済学部卒、1987年 New York University, Stern School of Business 卒。専門は、財務会計、証券分析、企業金融論、投資理論、金融資本市場規制

講師

澤田 拓子
さわだ たくこ



塩野義製薬株式会社
取締役副会長

京都大学農学部卒業後、塩野義製薬株式会社に入社、以来30年以上にわたり医薬品開発や経営戦略に携わる。グローバル医薬開発本部長、経営戦略本部長、取締役などの要職を歴任。2018年取締役副社長に就任、2020年よりヘルスケア戦略本部長兼務を経て、2022年取締役副会長就任。専門は経営戦略、研究開発、マーケティング、情報データ戦略

講師

田川 丈二
たがわ じょうじ



日産自動車株式会社
専務執行役員・CSO

慶應義塾大学経済学部卒。1983年に日産自動車株式会社入社。2019年チーフサステナビリティオフィサー（CSO）へ就任。日産の最高意思決定機関エグゼクティブ・コミティのメンバー。ルノー社及び三菱自動車工業株式会社の社外取締役。専門は財務、IR、サステナビリティ

講師

橘・フクシマ・咲江
たちばな ふくしま さきえ



G&S Global Advisors Inc
代表取締役社長

ハーバード大学教育学修士、スタンフォード大学経営学修士。Bain & Company、Korn Ferry International 日本支社長及び米国本社取締役歴任後現職。花王、ソニー等日本企業13社の社外取締役、経済同友会副代表幹事、内閣府、文科省、経産省等の委員を歴任。日本取締役協会副会長。専門はグローバル人材及びコーポレート・ガバナンス

講師

津田 恵
つだ めぐむ



株式会社 日立製作所
理事

2022年4月より日立製作所 サステナビリティ推進本部長、翌年より環境インターナショナルイニシアティブの本部長も兼務し同社の環境・社会価値創造の加速を担務。前職の大阪ガスでIR、CSR・環境、イノベーション推進部長を歴任。京都大学教育学部卒業、グロービス経営大学院 MBA、ハーバード大ケネディスクールフェロー。専門はサステナビリティ、組織行動とリーダーシップ

講師

原田 文代
はらだ ふみよ



日本政策投資銀行（DBJ）
常務執行役員

東京大学経済学部経済学科卒業。世界銀行グループ国際金融公社（IFC）東アジア・太平洋局 Senior Investment Officer（インフラ担当）、DBJ Singapore Limited 副社長、DBJ ストラクチャードファイナンス部長、執行役員（GRIT 担当）兼経営企画部サステナビリティ経営室長等を経て、2022年6月より現職。専門はインフラファイナンス、サステナビリティ

講師

牧野 成史
まきの しげふみ

Shige Makino (シゲ マキノ)

京都大学大学院経済学研究科
教授



香港中文大学名誉教授。慶応義塾大学法学部卒業、同大学経営管理研究科(MBA)修了、Western University 博士課程修了(Ph.D)。香港中文大学ビジネススクールで26年間教鞭をとり、現職に至る。Academy of International Business (AIB) フェロー。AIB 副会長、Association of Japanese Business Studies 会長を歴任。専門は経営戦略、国際経営、経営組織

講師

松井 キャシー
まつい キャシー

京都大学経営管理大学院
特命教授



ハーバード大学卒業、ジョンスホプキンス大学院修了。ゴールドマン・サックス証券会社副会長、グローバル・マクロ調査部アジア部門統括、チーフ日本株ストラテジストを経て、MPower Partners ジェネラルパートナー(現職)。専門はグローバル人材育成、ダイバーシティマネジメント

講師

御立 尚資
みたち たかし

京都大学経営管理大学院
特別教授



京都大学文学部米文学科卒。ハーバード大学より経営学修士を取得。ボストンコンサルティンググループ日本代表(2005年~2015年)。株式会社熟と爛会長、複数の上場企業社外取締役、ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン専務理事、大原美術館理事なども務めている。専門はリーダーシップ論、経営戦略、リスクマネジメント

講師

村井 暁子
むらい あきこ

京都大学経営管理大学院
客員准教授



リーダーシップ・コーチ。上智大学法学部卒業、フレッチャー外交法律大学院修士、ジョージタウン大学リーダーシップ・コーチング・プログラム修了。国連開発計画、シティバンク、ユニセフ、世界銀行等を経て、現職。国際コーチ協会のメンバー。サステナビリティをテーマにグローバル人材育成、組織開発を専門とする

講師

山田 和郎
やまだ かずお

京都大学経営管理大学院
准教授



神戸大学経営学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科修了(博士・商学)。立命館大学経営学部、長崎大学経済学部等を経て、現職。現在、日本経営財務研究会評議員、公認会計士試験試験委員。専門はコーポレート・ファイナンス、アントレプレナー・ファイナンス。

講師

好川 透
よしかわ とおる

早稲田大学社会科学部
教授



ヨーク大学(加)博士課程修了(経営学 Ph.D.)。シンガポール・マネジメント大学ビジネススクール(Lee Kong Chian School of Business)教授、マックマスター大学(加)ビジネススクール教授等を経て現職。専門はコーポレートガバナンス、企業戦略、グローバル戦略、同族経営など

講師

吉田 満梨
よしだ まり

神戸大学大学院経営学研究科
准教授



神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了(博士・商学)、首都大学東京(現・東京都立大学)都市教養学部助教、立命館大学経営学部准教授を経て、2021年より現職。京都大学経営管理大学院哲学的企業家研究寄附講座客員准教授。専門はマーケティング論、マーケティング戦略論、起業家のマーケティング

他にも特別研修プログラムにて講師陣をお迎えする予定です。

募集要項

「京都大学女性エグゼクティブ・リーダー育成コンソーシアム」より本プログラムを提供するためコンソーシアムに入会いただくこととなります。

会員区分と年会費について

正会員 275万円/年（税込み）

準会員 165万円/年（税込み）

特典

正会員

①女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム 講義 への参加が2名様まで可能です。

*3名様以上の場合は、追加で1名様につき110万円/年（税込み）が必要です。

②特別研修プログラム（年2回程度を予定）に参加いただけます。

③各企業様につき1名様のオブザーバー参加が可能です。

会員企業様に所属する女性の方で、プログラムに参加していない方でも、お試して1名様が合計3講義（オンライン講義：2回まで、対面講義：1回まで）参加可能です。来年度プログラムへの参加を検討されている方は、ぜひこの機会をご利用ください。

④個別企業相談を提供いたします。

⑤加盟企業様のお名前を、京都大学 経営管理大学院 本プログラムのホームページに掲載いたします。

⑥同窓会等に参加いただけます。

準会員

①女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラムへの参加が1名様可能です。

②加盟企業様のお名前を、京都大学 経営管理大学院 本プログラムのホームページに掲載いたします。

③同窓会等に参加いただけます。

定員・選考

定員 40名

対象・参加条件

対象：役員候補、又は将来に企業幹部になり得る女性。

参加にあたっての条件：以下の通りですが、適宜ご相談ください。

①原則として四年制大学を卒業しているか、またはそれと同等の能力を有している方。

②10年以上の実務経験がある方。

③学習意欲の高い方で、授業への参加が70%以上可能な方（オンラインと対面のハイブリット方式です）

受講期間

2024年10月～2025年3月（毎年10月開講）。

オンライン授業（平日17時～19時）：全14回

対面授業（土曜日10時30分～17時）：全7回（月1回。ただし10月のみ開講式を含むため2回実施）

開催場所

オンライン（Zoom）および京都大学吉田キャンパス

修了証

女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラムを修了した方には、修了証が授与されます。

* 専門職修士（MBA）ではありません

同窓会ネットワーク

修了生の方はプログラムの同窓会メンバーとなり、修了後にもイベント等にご招待いたします。

お申込み・お問合せ

606-8501 京都市左京区吉田本町

京大オリジナル株式会社 京都大学女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム運営事務局

E-Mail: wel-kyoto2023@kyodai-original.co.jp

※本プログラムの一部業務は、京都大学経営管理大学院が京大オリジナル株式会社に委託し、実施しています。



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University